

チャンドラゴーナ会報

Bangladeshの人々と共に歩む宮川医師家族を支える会

第5号 (第2期目赴任へ)

2009年7月25日 No. 5

URL: <http://chandranel.ngo.jp> E-mail: Sumi3Ngo@aol.com

2期目赴任に向けてのごあいさつ

宮川 眞一

この度、2期目開始のため9月に再び前任地のチャンドラゴーナに向け、家族で出発いたします。

帰国後10月から始まった報告会では、今年2月までに、小集事も合わすと全国約120箇所を回ることができました。ハードなスケジュールでしたが、学校や教会だけではなく、様々な場で語り、話しあい、その中から新しい理解が生まれ、仲間ができたことを、とても嬉しく思っています。

愛媛県の八幡浜幼稚園では、園児たちが集めてきた切手を、お話の後に一緒に切る作業をしました。集会の後、一人の園児が牧師館にやってきました。「家に帰ったら、手紙があったから、お母さんについて切手を持ってきた。宮川先生に渡して！」そう言って、牧師に1枚の切手を手渡したそうです。

山口県では、「人間イキイキ研究会」の方々の1週間のキャラバンでした。野島では、全小中学生6-8名への報告会、夜には島の人たちと酒を酌み交わしながら、話しは戦時中のこと、島の過疎の話にも及びました。

その場、その場で頂いたエネルギーに、祈りに深く感謝しております。

4月以降は、2期目に向けた研修期間にあてました。最初の1カ月半は、元の職場である福岡徳洲会病院で、内科・皮膚科を中心とした臨床研修を行いました。約4年間のブランク（先進医療からの）は、思った以上に大きく、最初の内は、外

来に出るのさえ、プレッシャーでした。皮膚科の研修を選んだのは、現地で一番困った科目だったからです。私自身も、原因不明の皮膚病（最後は一応の診断が付き完治しましたが）にもかかってしまいました。ご存じのように、現地の外来では何でも診なければなりません。この研修が2期目に役に立つよう頑張ります。

6月からは、ペインクリニック・臨床心理動作法・ファシリレーティングの研修などを行いました。それぞれに有意義であったと思います。これらについては、今後の現地からの報告で、どのように展開したかをお伝えする際に、詳しく述べたいと思います。

2期目のチャンドラゴーナでの仕事は、基本的には1期目と同様、地域医療プロジェクトのさらなる展開への参加と病院での勤務です。プロジェクトは、現在、母子保健分野、特に出産に伴う諸問題を中心に展開しています。病院では、メタボリック外来を始めとして、1期目に立ち上げた医療廃棄物委員会などをより展開させると共に、救急医療分野・メンタルヘルス分野での新たな試みを考えています。

一緒に赴任する娘、理希（りの）も2歳になり、おしゃべりも日に日に上手になってきました。新米ママだった理世（みちよ）も、おかーちゃんらしく成長してきてるようです。2期目も家族一同、どうぞよろしく願いいたします。



全国各地で帰国報告会開催

9月の帰国後直後から、北海道から、鹿児島まで、全国各地で帰国報告会が開催されました。約120ヶ所を廻りました。JOCS関係と宮川医師の関係で、キリスト教会、小中高校・大学、病院NGO関係と幅広いところから、招かれご報告することができました。ご協力に感謝いたします。

クリスマスのイベントをチャリティ・コンサートとしていただいたり、インターネット放送や新聞記事として紹介されました。



西南学院大学チャペルの後コミュニティセンターで

以下JOCS事務局がまとめた開催地。(開催順) 写真は、事務局撮影の福岡開催のものです。

2008年10月

JOCSバン格拉デシュ委員会、青山町教会、尚綱学院大学、東北学院榴ヶ岡高校、東北学院大学、尚綱学院中学校・高等学校、仙台JOCS、仙台北三番丁教会、鈴蘭幼稚園母の会、関西学院大学神学部、神戸JOCS、神戸栄光教会、宮川会関西地区お祈り会、神港教会、関西学院中学部、関西学院高等部、JOCS関西地区活動委員会(関西事務局) 関西学院大学神学部、関西学院高等部、大阪女学院大学・短期大学、関西学院高等部、明覚寺菩薩会、大垣荒尾教会、キリスト教社会福祉専門学校、

11月

宇和島中町教会、日本リハビリテーション専門学校、名古屋高等学校、名古屋学院大学、静岡英和学院大学・短期大学部、相馬東高等学校、相馬看護専門学校、相馬高等学校、大阪JOCS、西岡本キリスト教会、神戸大学、同志社女子大、関西医科大学滝井病院心療内科、大阪YMCA国際専門学校国際高等課程、デイサービスセンターはるかぜ、姫路野里教会、播州地区JOCS、宇和島市立明倫小学校、宇和島市立城東小学校、啓明学院中学・高等学校、啓明学院中学・高等学校、人間いきいき研究会会合、コ・メディカル学院、日本キリスト教団 宇部緑橋教会、地域共生ホーム中村さん家/地域おとな塾、こぐま保育園宇部園舎、フリースペースひだまり、フリースペースひだまり(パネル写真展&ミニ報告会、山口県立田部高校、防府市立野島小中学校、野島歴史文化資料館「野島百講」、山口市立阿知須中学校、山口市社協阿知須支部、山口大学国際医療研究

会、梅光学院国際交流セミナー、チャリティ・コンサート(福岡バプテスト教会)、福岡玉川教会



インターネット放送に出演

12月

屋久島町総合センター、インターネットテレビ収録(福岡)、福岡徳洲会心療内科(医局カンファレンスルーム報告会)、福岡女学院教会、福岡女学院中学・高等学校・女学院大学、西南学院大学、西南コミュニティセンター、福岡女学院看護大学、聖マリアンナ医科大学病院、JOCS定例理事会 千葉英和高等学校、宇和島市立鶴島小学校(授業) 宇和島市立宇和津小学校、八幡浜市立八代中学校、地域ネット研究会UWA、八幡浜教会幼稚園、松山ベテル病院、ネパール会、茶房 読書の森(宮川ワーカーを支える小諸有志の会)、JCMA京都/京都JOCS

2009年1月

大阪西野田教会内超教派キリスト教視力障害者友の会、関西学院倶楽部新年礼拝、聖隷クリストファー大学、JOCS東京事務局ボランティア交流会、JOCS保健医療勉強会、足利JOCS、(株)光波、岐阜県恵那市立長島小学校、長野県千曲市立埴生小学校、長野市立三陽中学校、新潟ボランティアセンター



カトリック教会でも報告

2月

常呂高校、北見市立常呂中学校、北海道北見市「みんなで生きる*ところ実行委員会」、日本キリスト教団帯広教会/帯広友の会、酪農学園 とわの森三愛高等学校、大阪アジアの将来を考える会、福岡大名町カトリック教会、別府教会、大分教会中津教会(保育園)(祈祷会)、今治教会、宇和島ライオンズクラブ

現地活動の今後の課題

宮川医師から、関西地区の祈祷会に際して、「祈りの課題」として提起されています。現地活動の継続した課題ですので、覚えてご加祷ください。

- (1) 混乱した政局の中、人権を侵害されたり生活が脅かされたりする人がいること。
- (2) 継続しているチッタゴン丘陵地帯での少数民族と入植者の対立が早く平和的解決に向かうように。
- (3) 地域医療プロジェクトについて
- (4) 医師・ナース他、医療者の病院内での活動について
- (5) 付属看護専門学校に学ぶ看護学生たちについて
- (6) 病院内バプテスト教会に専任牧師が与えられ、CLC 教会がより充実しますように
婦人家庭祈祷会が守られますように
- (7) 貧困の為に奪われていく命について
- (8) 働きたくても職が与えられない人達、生活のために命がけの仕事をする人達を覚えて
- (9) 様々な理由で路上で生活する子供について
- (10) サイクロンや洪水のために、様々な被害を受けた方々のために
- (11) CHC での私達の活動について
- (12) JOCS の活動・職員・ワーカーについて

「ぼん・ぼり通信」創刊号

宮川家族の現地日常生活が「ぼん・ぼり通信」にまとめられています。「生活編」「風俗編」「子育て編」など、興味深いものばかり。以下抜粋。(ホームページで全文が掲載されています)

宮川家族の3年間

2005(平成 17 年)

- 8 月 派遣祝福式・壮行会(関西・福岡)
- 9 月 バングラデシュへ出発
首都ダッカで語学研修

2006 (平成 18 年)

- 7 月 チャンドラゴーナへ、
CHC:病院での生活がスタート
- 8 月 一時帰国

2007(平成 19 年)

- 7 月 理希ちゃん誕生。長野県の実家で。
- 12 月 理世・理希バングラデシュへ戻る。
チャンドラゴーナ会角訪問

2008(平成 20)年

- 7 月 JOCS のツアー受け入れ。
- 9 月 1 期 3 年間の赴任を終了。
- 10 月 全国各地で報告会

2009(平成 21)年

- 報告会と、医療研修。
- 理世・理希ファミリーは、実家長野に滞在。

こんな家に住んでいます。

病院敷地内にある、コの字型の建物の一角。2 階が病院のゲストハウスで、隣に病院そのスタッフ 3 家族が住んでいます。応接間とキッチンのほか部屋が 3 室で、外には、庭があり緑に囲まれた家です。向かいに看護学生の寮があります。



何でもそろろ(?) 町の市場

病院の門を出ると、細い道を挟んで、この町の中心の「ドバン・バザール」薬屋、文房具、生地屋、金物屋、電気屋、靴屋、貴金属屋、横道に入ると野菜屋、肉屋、魚屋など食料品が買える「カチャ・バザール」(フレッシュ・マーケット)があり、生活に必要な最低限のものは、手に入ります。しかし、品物もある時、ない時とムラがあります。

子育て編

この国は、みんな子ども好き、身内だけでなく、隣近所や通りがかりの人まで、温かい目で見守ってくれます。理希を連れて行っても「おいでおいで」と笑顔で迎えてくれ安心して連れて歩くことができます。よく「この子誰の子」と聞かれることがあります。それは、姉妹や叔母、近所の人など、多様な人がみんなで協力して子どもの世話をしているからです。社会全体で育てている温かさを感じます。

習い事

- 眞一：バングラデシュ伝統の踊り
病院の創立記念会で、先生とペアで披露。
- 理世：伝統打楽器トプラー。もう 2 年になります。

やっちゃいました！ バングラデシュ流パーティ

一時帰国前に、送別会と理希の誕生日の気軽なホームパーティのつもりが、話がどんどん進んで、バングラデシュ風大規模パーティに。

3 日前 4 メートルほどの長い竹を運んで来て、手際よくテントを組み立て、雨が降っても濡れないように屋根も張り、柄付の布で覆って会場が出来上がり。前日には、大人一人が入るような大きな鍋がゴロゴロ秘話に運び入れられ、コックさんたちが 6, 7 名やって来て夜通し庭に野宿しながら仕込み。ニワトリも何十羽がメインデッシュで、翌朝は鍋の中に。それから、あっという間に 7 つのテーブルで 94 人が座れるようセッティング。カレーのにおいの充満する中、娘のケーキカットと、大合唱で盛り上がる。・・・そして夕方 6 時には、テントの跡形もなく元通りに。さすが、ホスピタリティの国バングラデシュ！その職人技に脱帽。・・・

*** バングラデシュとは ***

インドの東隣、ガンジス河下流、亜熱帯モンスーン地帯。国連で定める最貧国のひとつで、貧困撲滅、保健衛生・教育などの開発が求められています。

人口 約1億5千万人 (日本 約1億2700万人)

面積 約14.4万k㎡ (日本の本州程度, 日本37.8k㎡)

人口密度 1,083人/k㎡ (日本336人同比)

言語 ベンガル語 ほかに少数言語

宗教 イスラム教 89% ヒンドゥー教 9%

仏教 0.7% キリスト教 0.3% ほかに

経済 ジュート、米、茶を中心とする農業国。

財政支出の半分近くが外国からの援助。

最近縫製品、革製品、冷凍魚類の輸出増大。

GNP 480米ドル(約5万円)/一人年

(日本38,410米ドル(約400万円)同比)

平均寿命(出生時) 63歳 (日本82歳)

5歳未満児死亡率 69人/出生1000人 (日本4人同比)

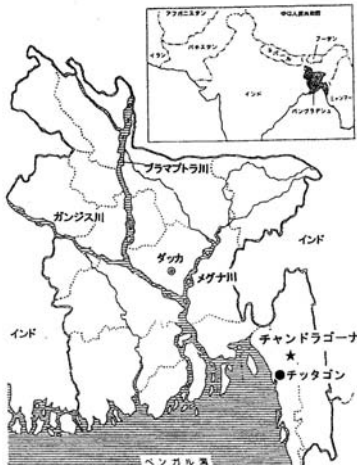
医師数 2人(人口1万人対) (日本19人同比)

識字率 男 49% 女 30% (日本男女99%以上)

1日1米ドル(約100円)以下で暮らす人々 41%(日本なし)

(出展:「ユニセフ世界子供白書2008」他)

チャンドラゴーナ (Chandraghona) の地図



宮川眞一 (みやがわ しんいち) さん プロフィール

1959年愛媛県宇和島市生まれ。同郷の故岩村昇氏(元JOCSネパール派遣医師)に影響を受け、海外医療協力を志す。宇和島東高校、関西学院大神学部、徳島大医学部卒業。福岡徳州会病院勤務。2005年9月バングラデシュへ赴任。

宮川理世 (みやがわ みちよ) さん

長野県飯田市生まれ。13歳より英国に滞在。カナダ・ヨーク大学、英国サセックス大学院卒業後帰国。宮川眞一さんと結婚し福岡に在住後、赴任に伴いバングラデシュへ。

宮川理希 (みやがわりの) ちゃん

2007年7月14日誕生。はじめまして。Nice to see you! もう歩けます。おしゃべりもできます。



*** 「チャンドラゴーナ会」とは***

JOCSで派遣されている宮川眞一医師・理世・理希家族のバングラデシュ南東部チャンドラゴーナでの、地域医療活動の支援活動とその広報、募金活動等を行っています。現地の活動を随時ホームページや会報でお知らせし、報告会等行っています。

ホームページ<http://chandranet.nngo.jp>

会員の情報共有のためのメーリングリスト(ML)「Chandra-net」を開設しています。参加希望者はowner-chandra-net@freeml.comへ

本会の活動の趣旨・目的をご理解いただければ、どなたでも入会できます。どうか会の目的、趣旨を理解していただきより多くの人たちの支援・ご協力をお願いいたします。

入会案内

活動内容

現地活動支援、報告会・学習会等開催、会員募集、会報作成・印刷・発送・IT関連管理等

年会費 (会計年度 7月1日～翌年6月30日)

- ・会員 3,000円
- ・賛助・学生会員 一口 1,000円
- ・維持会員・団体会員 一口 10,000円

会費・ご寄付の送金方法

- 1) 郵便払込 郵便振替口座 01750-7-77534
加入者名: チャンドラゴーナ会
- 2) 銀行振込口座
(お振込後ご連絡いただければ幸いです)
東京三菱銀行福岡支店 普通預金 2121511
名義: チャンドラゴーナ会

現地住所: チャンドラゴーナ・キリスト教病院

Christian Hospital Chandraghona (CHC)
Chandraghona-4531, Rangamiti Hill Tracts,
Bangladesh E-mail: miyapyon@mac.com

派遣:(社団)日本キリスト教海外医療協力(JOCS)

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-33
TEL 03-3208-2416 FAX 03-3232-6922
<http://www.jocs.or.jp> info@jocs.or.jp

*事務局より:

全国での報告会開催のご協力ありがとうございました。会員・寄付者の名簿や、会計報告は別紙をご参照ください。これからの二期目赴任に向けて、さらに支援者が拡がることを願っています。

編集・発行: チャンドラゴーナ会事務局

「バングラデシュの人々と共に歩む宮川医師家族を支える会」

世話人代表 角 正信 (すみまさのぶ)

〒811-1111 福岡市早良区脇山 1-15-12

国際多文化共生研究所内

URL: <http://chandranet.nngo.jp>

E-mail: Sumi3Ngo@aol.com

TEL 090-5925-1940 FAX: 092-804-2632